

# 育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.173

発行日 平成26年5月1日 発行責任者 池谷 英子  
発行 社会福祉法人ともかわさき 川崎市育成会手をむすぶ親の会  
〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」1階  
TEL:044-812-2966 FAX:044-813-1216 Email:kawaikusei@tomokawasaki.or.jp

## 新年度に向けて

会長 池谷 英子

若葉が鮮やかな季節になりました。皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

早いもので、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」の活動も、2年目を迎えました。初めての年度となった昨年度は、三役、運営委員会を中心に、各委員会、各支部役員が一丸となって運営に努めてまいりました。今年度も、昨年度同様、力を合わせて頑張りたいと考えています。

昨年度の新しい試みとして、当会の活動内容をより多くの方に理解していただくために、シンボルマークを会員から募集し、パンフレットを作成しました。現在、新会員獲得のために、学校訪問等に活用しています。これからも、いろいろな場面で活用していきたいと思っています。3月には、会員の皆様にも配布いたしましたが、ご覧いただけましたでしょうか。

専用ホームページの作成も着々と進んでいます。完成を楽しみにお待ちください。

また、今年の各支部の新年懇談会に参加したときに、「親亡き後」についての不安が、多くの方々から語られました。「親亡き後の環境づくり」などの実現のために、市行政と共に、具体的な事例を検証していきましょう。ただ要望するだけでなく、会員の意見をまとめ、「こうすれば実現できる」と提案していくことも大切だと思っています。

「川崎市心身障害児者福祉大会」と「心身障害者成人式」は、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」「川崎市肢体不自由児者父母の会連合会」「川崎市自閉症協会」の3団体が力を合わせて取り組んでまいります。

この3団体が、親の会として協力し合い「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」の実現を目指します。

平成18年12月、障害者権利条約が国連総会で採択されました。日本政府は平成19年に条約に署名後、国内の法整備を行い、昨年12月の国会で批准が承認されて、今年1月20日に批准を果たしました。しかし、意思決定支援など、まだまだ問題は山積しています。尊厳を守り権利条約に恥じぬ施策の実現が求められています。

地域で安心して暮らせる共生社会の実現を目指して、私たちに出来ることから始めてまいります。会員の皆様の支えとご協力をよろしくお願いいたします。





## 川崎市への平成26年度予算要望回答について

副会長 宮澤 明

川崎市への予算要望は、地福協時代から行われておりましたが、先般、平成26年度予算要望についての回答が市担当課からあり、育成会から三役が出席し、説明を受け、意見交換を行いました。育成会への移行後、初めての予算要望に、運営委員会、三役会議で検討を重ねました。背景としては、「障害者総合支援法」が可決され、共生社会の実現と障害を持つ者の生きる力をつけ、障害を持つゆえに意思決定の難しい者に、意思決定支援体制を早急に整えること。デイサービス事業者への安定した経営施策。「親亡き後」地域で安心して暮らすことが出来る支援体制などについて、要望を行いました。

更に回答の中から早期実現を望む項目を抜粋して口頭で伝え強調しました。

- ① 南部地区に入所施設の早期建設。
- ② 障害者基礎年金の増額の国への要望。
- ③ 親子で暮らせる入所施設を他都市の研究などを事例に対応を。
- ④ 医療ケアが必要な重度知的障害者も利用できるショートステイを市立病院に設置。
- ⑤ 介護者・介助者のバス乗車の無料化。
- ⑥ 災害時の要支援体制の具体化。
- ⑦ 重度障害者医療費助成制度の現行維持継続。

川崎市育成会手をむすぶ親の会として、会員の皆様の要望や期待に応えるべく毎年、行政に要望書を提出して、回答をいただいております。今後の市行政の障害者施策の進捗や変化に注目していただきたいと思います。会員の皆さまの目で、検証をしていただき、要求の実現に向けて粘り強く訴えていきたいと思っております。



## 全日本育成会の動向について

副会長 結城 眞知子

3月7日（金）に全日本育成会研修会に参加しました。盛りだくさんの意義深い内容の会議でした。今回はその中から育成会の“現状・課題”と“これから”を報告します。

### <現状と課題>

- ① 少子高齢化の中、全国の障害者団体は組織の維持・継続に悩みを抱えている状態で、全日本育成会も近年の会員減少の歯止めと新規会員の獲得が長い間にわたっての課題となっており、厳しい運営実態である。
- ② 全国30万人の会員の付託に応え、障害者の権利擁護を推し進めていくためには、身の丈に合った持続性の高い組織運営を構築していくことが不可欠となっている。

### <これから>

- ① 56正会員によるブロック活動を強化し、各地方育成会の活性化も視野に入れた運動と活動を連携して進めて行く。
- ② 全国からの要望に応えるために身の丈に合った組織運営に変えることで活発な運動を持続させていく。
- ③ 育成会の原点である「障害者の権利擁護」と「必要な政策提言」を行う運動を、障害者本人の高齢化の備えと共に高齢化する家族同居支援の具体的な提案をしていく。
- ④ 児童学齢期からの息の長い支援、インクルーシブ教育の推進と特別支援教育の充実。
- ⑤ 地域支援及び家族支援の強化を重点課題として進めていく。

この他に来年度施行される制度についての「情勢報告」や親亡き後も地域で暮らす「事例報告」等もあり、これからの川崎市育成会手をむすぶ親の会活動に大変参考になりました。ぜひ、今後に生かしていきたいと感じた研修会でした。

「川崎市育成会手をむすぶ親の会第2回総会」開催のお知らせ

総会は代議員制とし、支部から推薦又は選出した代議員及び全会員から立候補して選出された代議員と会則第8条の役員のうち会計監査を除く役員をもって構成し、開催します。

日 時：平成26年6月2日（月）10時30分～12時

場 所：地域福祉施設「ちどり」1階 会議室

代議員数

| 支部名      | 定数 |
|----------|----|
| 中央支部     | 2  |
| 大師支部     | 2  |
| 田島支部     | 2  |
| 幸支部      | 3  |
| 中原支部     | 3  |
| 高津支部     | 4  |
| 宮前支部     | 3  |
| 多摩支部     | 4  |
| 麻生支部     | 2  |
| 田島支援学校支部 | 2  |
| 中央支援学校支部 | 2  |
| 立候補者枠    | 5  |

【議事】

1. 会則の変更（案）
2. 事業報告及び決算
3. 事業計画及び予算（案）
4. 役員人事（案）
5. その他

<定数積算の参考>

中央60、大師70、田島68、幸93、中原98、高津117、宮前85、多摩124、麻生65、田島支援39、中央支援8（平成25年11月末現在）30人につき1名  
支部代議員数は最低2名とする。  
立候補者枠5名、役員6名

- ・代議員として立候補される方は、5月16日（金）までに各支部長にお申込みください。立候補者枠を超えた場合は抽選とさせていただきます。

**平成26年度川崎市心身障害児者福祉大会**

日 時：平成26年6月28日（土） 13時00分開始（受付12時30分～）

会 場：川崎市総合自治会館ホール 川崎市中原区小杉町3-1

※駐車場が狭いため、公共の交通機関をご利用ください。

**大会スローガン「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」**

第一部 式典 13時～13時40分 大会宣言

第二部 講演会 13時40分～15時40分

予定『かわさき第4次ノーマライゼーションプランについて』

講師：川崎市職員

**「川信ふれあい市場」のお知らせ**

開催日時 平成26年5月16日（金）

開催場所 川崎信用金庫本店ロビー及びふれあい広場

素敵でかわいい製品、おいしいパンやお菓子がたくさん！  
ぜひ、足をお運びください！



平成26年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 支部代表者の紹介

| 支部名      | 氏名     | 住所     | 電話番号     |
|----------|--------|--------|----------|
| 中央支部     | 飯塚 弘子  | 川崎区京町  | 333-5840 |
| 大師支部     | 近藤 節子  | 川崎区川中島 | 288-5023 |
| 田島支部     | 中村 恵美子 | 川崎区浅田  | 333-9929 |
| 幸支部      | 角田 三津子 | 幸区下平間  | 522-3128 |
| 中原支部     | 吉野 明美  | 中原区市ノ坪 | 433-7303 |
| 高津支部     | 太田 理佐  | 高津区新作  | 877-2134 |
| 宮前支部     | 梅田 順子  | 宮前区初山  | 975-7074 |
| 多摩支部     | 美和 とよみ | 多摩区宿河原 | 922-3015 |
| 麻生支部     | 黒瀬 晶子  | 麻生区片平  | 986-9869 |
| 田島支援学校支部 | 安藤 久美子 | 幸区塚越   | 533-6317 |
| 中央支援学校支部 | 宮脇 真理子 | 多摩区登戸  | 935-3563 |

平成26年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会 各委員会委員の紹介

|          | 運営<br>委員会 | 余暇<br>委員会 | 研修<br>委員会 | 広報<br>委員会 | 権利擁護<br>委員会 |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 中央支部     | 飯塚        | 飯塚        | 鈴木        |           |             |
| 大師支部     | 近藤        | 近藤        | 渡部        |           | 並木・山入端      |
| 田島支部     | 中村        | 安達        | 中村        | 安達        |             |
| 幸支部      | 角田        | 角田        | 高井        | 仁尾・高山     | 加賀見・仁尾      |
| 中原支部     | 吉野        | 吉野        | 菅井        | 吉野        | 菅井          |
| 高津支部     | 太田        | 山田        | 太田        | 三浦        | 三浦          |
| 宮前支部     | 梅田        | 岩見        | 梅田        | 梅田        | 梅田          |
| 多摩支部     | 美和        | 神田        | 神田        | 美和        | 美和・中村       |
| 麻生支部     | 黒瀬        | 影山        | 黒瀬        | 篠原        | 篠原          |
| 田島支援学校支部 | 安藤        |           |           |           |             |
| 中央支援学校支部 | 宮脇        |           |           |           |             |

川崎市幹部職員の紹介（平成26年4月1日現在）

【健康福祉局】

|              |        |
|--------------|--------|
| 健康福祉局長       | 伊藤 弘   |
| 障害保健福祉部長     | 萩原 利昌  |
| 障害計画課長       | 川島 伸一  |
| 障害者雇用・就労推進課長 | 糊澤 直美  |
| 障害福祉課長       | 杉浦 のぞみ |
| 精神保健課長       | 明田 久美子 |

【市民・子ども局】

|         |       |
|---------|-------|
| 子ども本部長  | 成田 哲夫 |
| 子ども支援部長 | 小池 義教 |
| 子ども福祉課長 | 北谷 尚也 |

※市民・子ども局長は子ども関係の事業は所管しないため載せませんでした。

各区・地区ステーション 障害者支援担当の連絡先について

| 管区 | 電話番号     |
|----|----------|
| 川崎 | 201-3294 |
| 大師 | 271-0162 |
| 田島 | 322-1984 |
| 幸  | 556-6654 |
| 中原 | 744-3265 |

| 管区 | 電話番号     |
|----|----------|
| 高津 | 861-3312 |
| 宮前 | 856-3261 |
| 多摩 | 935-3296 |
| 麻生 | 965-5159 |

【担当】

・区役所  
保健福祉サービス課障害者支援担当

・地区健康福祉ステーション  
保健福祉サービス係

平成25年度特別支援学校等卒業生の進路状況

1 卒業生の状況

|          | 卒業生数 |
|----------|------|
| 市立養護学校   | 54   |
| 市立田島養護学校 | 21   |
| 県立鶴見養護学校 | 7    |
| 県立中原養護学校 | 24   |
| 県立高津養護学校 | 40   |
| 県立麻生養護学校 | 26   |
| 市外特別支援学校 | 9    |
| その他の学校   | 25   |
| 合計       | 206  |

2 近年の特別支援学校等卒業生進路先

|      |      | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 |     |
|------|------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 日中活動 | 就労移行 | 16     | 26     | 24     | 16     | 8%  |
|      | 就労継続 | 12     | 32     | 28     | 21     | 10% |
|      | 生活介護 | 52     | 68     | 66     | 77     | 38% |
|      | 自立訓練 | 1      | 0      | 4      | 0      | 0%  |
|      | 旧法   | 6      | 0      | 0      | 0      | 0%  |
|      | 地活   | 7      | 9      | 7      | 9      | 4%  |
|      | 重心通園 | 0      | 0      | 0      | 0      | 0%  |
|      | 計    | 94     | 135    | 129    | 123    | 60% |
| 入所   | 4    | 6      | 2      | 2      | 1%     |     |
| 就労   | 40   | 31     | 55     | 55     | 27%    |     |
| 職業訓練 | 8    | 4      | 4      | 4      | 2%     |     |
| 進学   | 10   | 8      | 7      | 7      | 3%     |     |
| その他  | 12   | 14     | 8      | 15     | 7%     |     |
| 合計   | 168  | 198    | 205    | 206    |        |     |

## 第15回 全日本手をつなぐ育成会 権利擁護セミナー 障害のある人も暮らす共生社会をみんなで作る

開催日時：平成26年3月8日（土） 10時～16時

開催場所：大田区民ホールアブリコ

【報告1】「孤立死」を生まないために ～リスクの高さを把握するチェックリストについて～

佐賀・ライフサポートはる理事長 福島 龍三郎  
株式会社三菱総合研究所 高森 裕子

平成24年度、平成25年度と行った調査結果から、孤立死に至るリスクを高める要因と下げる要因とを洗い出し、「チェックリスト」を開発。現在、全日本手をつなぐ育成会のホームページに掲載されています。「リスクを示す数字は目安です。」とのことでしたが、今後は、こういったチェックリストの活用と実際の様子を照らし合わせながら、孤立する人をすくいあげることができればよいなと思いました。

【報告2】差別に関する意識調査アンケート 集計結果について

権利擁護推進センター委員・弁護士 関哉 直人

昨年の10月～11月に、全国の育成会関係者に実施したアンケートの結果報告がありました。「差別を受けた場面は」の問いには「学校、教育の現場で」が42%、「誰かに相談しましたか」の問いには「相談していない」32%、問題解決の方法には、「家族等が周囲に説明し、理解を得た」、「差別だと伝えることで改善がみられた」との回答が多数だったそうです。一人で悩まないためにも、親の会の活動が必要不可欠だと痛感しました。

【特別講演】共生社会をつくるために私たちがすること、できること

厚生労働省事務次官 村木 厚子

村木事務次官から「共生社会」の実現にむけてのお話を伺いました。「4つの基本的視点」①自立と尊厳(社会的経済的自立を実現)、②つながりの再構築(社会とのつながりを持つ)、③子ども・若者の未来(公平な条件で人生のスタートをきる)、④信頼による支え合い(信頼できる制度運用)と、「3つの支援のかたち」①包括的・個別的な支援(全体と個別の両面からの支え)、②早期的・継続的な支援(訪問型支援の実施など)、③分権的・創造的な支援(民間の柔軟で多様な支援)から、「共助」の大切さを改めて感じました。

【シンポジウム】ひとあし先に見てみよう 障害のある人が暮らす共生社会の風景

千葉・恋する豚研究所 飯田 大輔  
ながの障害者生活支援協会 岸田 隆  
ワークスみらい高知 竹村 利道  
コーディネーター／ 毎日新聞論説委員 野沢 和弘

3人の若いシンポジストを迎えて、型にはまらない活動の紹介がありました。飯田氏からは、地域の高齢化に着目し、生産、加工、販売を障害者雇用結びつけた実例が、岸田氏からは、障害があっても「自分らしい」生き方をしてもらうための取り組みについて、竹村氏からは、賃金という具体的な数字を目標に障害者雇用の場を広げているとの報告がありました。それぞれの「福祉の領域にとじこもらない」、「福祉は、障害のある人に夢を持ってもらったり、チャレンジをさせてあげたりする仕事」、「町中にさりげなく障害のある人が働いている社会の実現」との言葉から、共生社会を覗いたような気分になり、元気をもらうことができました。(仁尾 智都子)

## 通過型施設の役割 ～地域生活移行へ、必要な支援とは～



平成26年3月4日(火)、首記テーマで研修会が催されました。昨年4月開設の「桜の風」施設長・中山満氏をお招きして、どのようなサービスを目指しているのか。又、その目的を実現する為に必要な理念、施策は何か。と言うテーマでお話していただきました。以下にその要旨を報告します。

### 1. 建物の特徴

障害種別に分かれた8ユニットの小集団生活。各ユニットにはグループホームと同じくリビング、食堂、浴室を備えている。居室の広さは12㎡。施錠は内鍵。行動障害ユニットを除けば施錠・監禁とは無縁の開放的施設。

### 2. ノーマライゼーションの理念の下に

障害者を一人の人間として尊重し、支援する。管理の対象者として見ている限り障害者は差別され、虐待される。管理的保護は動物の扱いでしかない。

- ①契約者は利用者本人であると理解。本人が嫌がるなら入所契約はできない。家族と離されるのは本人にとってとても辛い事。納得できるまで、時間的ゆとりが必要である。
- ②地域と同じ生活を整える。小集団、個人的行動を重んじる。施設側が良かれと勝手に支援を決めない。一つ一つの事柄を本人はどの様に理解しているかを粘り強く確認し、どう取り組むかを共に考える。
- ③本人が元来持っている「強さ・力」に着目して、それを引き出し活用する方法を探る。動物を訓練したり、押さえ付けたりする方法は採らない。
- ④職員の姿勢・ノーマライゼーションは職員から始めよう。知性を伴う発言、行動。利用者の個別的理解と専門的対処方法の習熟等。

### 3. 「桜の風」の特徴…通過型施設

地域で暮らす事が当たり前の姿。施設の生活は特別な場だから、誰もが地域で暮らす事を目指そう。障害は簡単に改善したり治ったりしない。ありのままの状態での地域生活をする為の支援をする。また、グループホーム、ヘルパー、通所施設、医療機関など暮らしに必要な支援の充実を図る。

### 4. 最後に

- ①入所施設に対する親の「<sup>つい すみか</sup>終の棲家」としての期待と職員の障害者観の反省は尽きる事はない。
- ②親亡き後は地域生活へ。何か事が起きた時には、いつでも背負ってくれる所が入所施設でありたい。  
(宮本 善夫)



## 第8回ふれあい製品アゼリア展示即売会

平成26年2月28日(金)アゼリアサンライト広場にて、市内施設の製品展示即売会が開催されました。前日まで、気温が低く雨も降ったりしていたのですが、当日は一転して春めいた一日になりました。そのおかげか、人出も多く、通りすがりにお客さんが集まっているところを見て、興味を持って立ち寄り購入している方が何人も見られました。



各施設の利用者さんが一生懸命作った製品の数々です。一人でも多くの方に手にとっていただき、気に入っていただけたら嬉しい、と思います。  
(高山 君子)

### 「あんしんノート」書き方講習会【報告】

平成26年2月24日（月）10時30分～12時、今年度のまとめとなる「あんしんノート」書き方講習会を、地域福祉施設「ちどり」で開催しました。6人の参加者を迎え、今年度は、「あんしんノート」をより活用しやすい形にするために、見直しをしてみようということになりました。

### 「あんしんノート」書き方講習会【お知らせ】

開催日時：平成26年5月26日（月） 10時30分 ～ 12時

開催場所：地域福祉施設「ちどり」1階会議室

内 容：「あんしんノート」エコマップを中心に、レイアウト・内容を検討します。

持ち物：鉛筆、消しゴム、あんしんノート（お持ちの方）

\*「あんしんノート」をお持ちでない方は、当日、用紙のみ100円でお分けしています。

皆様のご参加をお待ちしております。

権利擁護委員会より



### NPO法人ピープルデザイン研究所

#### 代表理事須藤シンジ氏との懇談

開催日時：3月13日（木）13時～15時

開催場所：地域福祉施設「ちどり」

須藤さんは、世界のトップクリエイターとのコラボレーションで、「意識のバリアフリー」のメッセージ活動を展開しています。平成

22年からは従来型の福祉的なアプローチと一線を画す「PEOPLE DESIGN（ピープルデザイン）」という新たな概念を立ち上げ、障害の有無を問わずハイセンスに着こなせるアイテムや、障害者を街に呼び込むためのイベントをプロデュースされています。

平成24年4月NPO法人ピープルデザイン研究所を創設。国内外の教育機関からも注目されています。生まれ住む川崎市で、いっしょに何かできないかと話してくださいました。

渋谷区のある街の地域おこしの企画に、障害者がかかわれる仕事を提案し、地域の施設が請け負っています。障害者施設で作るチーズケーキの製造販売の企画に参加され、誰に、何を、どのように提供するのかという考え方を基に、商品を開発したとも話されました。

また、渋谷パルコ店のイベントスペースで、買い物に来た人が買いたいと思うような、施設の製品を並べたバザールも開催しました。

「行政がしてくれることに期待を持つだけでなく、自分ができることをどれだけできるのか。当事者と一緒に考えていくことが大切です。」「同じ場所に違った人がいて当たり前、ハートのバリアフリーが大切です。思いやりの気持ちをもった川崎市にすることで障害者の自立が可能になります。」とのこと。

お話を伺って、私たちは親として、何ができるのか、何をすればいいのか、障害者が地域で暮らすには……。何から始めましょう？

（美和 とよみ）



## 支部通信

## 高津支部のつどい

高津支部 太田 理佐

3月6日(木)に、岡本さん親子をお迎えして『これまでの子育てをふりかえり、これからの親子のあんしんを考える』のテーマで行いました。

娘の真理さんは作業所に通い、また個人新聞の執筆をされ将来したいことなど前向きなお話をうかがい、話の合間には親子の楽しいやりとりもあって和やかな会になりました。

岡本さんは養護学校の教員を務めた後、『三人会』を発足。「将来のためのあんしんノート」をつくり活用を広めています。岡本さんは「あんしんノート」を書いて、現在を把握すること・自立への準備・そして成年後見人制度を利用する時にも活用できること、またノートを通していろいろな人との繋がりが広がったことも話してくださいました。

今、娘さんも交えて「後見人を決める前に生活支援も含めてその人のことをよく知る」『真理プロジェクト』を進めているそうです。



「あんしんノート」を書いて、将来の不安や心配が募ってしまうこともあるかもしれません。けれども、これからも変わらず我が子が安心して過ごすための『親心の記録』『引き継ぎ書』として、「あんしんノート」を書いてみようと思います。

## 中原支部 施設見学

中原支部 吉野 明美

3月19日(水)障害者支援施設「桜の風」を見学しました。ノーマライゼーションの理念の下、一人の人間として尊重し、支援する姿勢を大きく感じました。暗い、閉じ込める等というイメージもなく、利用者を管理の対象とせず、地域で暮らす力を身につけ、一人ひとりにあった支援を目指していました。しかし、あくまでも通過型で終の棲家ではない!という不安は残りますが、社会生活力をつける場所と位置づけ、ショートステイを利用するなどして親亡き後の準備の選択肢に入りたいと考えました。

## 川崎三支部研修会「川崎市の障害福祉対策の現状と

## 新たな相談支援センターの取り組みについて」

大師支部 渡部 礼子



3月24日(月)に中央・大師・田島支部の三支部で、研修会の一環として川崎市南部身体障害者福祉会館で勉強会を開催しました。川崎市健康福祉局 障害計画課の川上賢太氏をお迎えして理解しやすい内容でお話していただきました。出席者からは活発な意見や質問が出て、大変、実りある勉強会になりました。子の将来に対する不安や心配は、親の抱える共通の悩みです。育成会手をむすぶ親の会の活動の和が広く浸透して大きな力となっていき、利用者に寄り添った丁寧な支援につながっていくことを願っています。

## 「おしゃべり多摩」開催

多摩支部 美和 とよみ

3月28日(金)10時30分から福祉パルたまで開催しました。参加者は8名でした。今回は、26年度の要望について、ワークショップを行いました。ペンを使うよりお口の方がよく動くのですが、それぞれの思いを知ることができ、とても有意義な時間になりました。次回は5月29日(木)に開催します。





## 春の宿泊レクリエーション報告

3月9日・10日の1泊2日で西伊豆方面と宇久須温泉に行きました。1日目は南国感いっぱいの花やハワイアンダンスを見学し、若さあふれるショーに元気をもらい、一路ホテルへと向かいました。

ホテルの部屋から望む夕日の沈む姿に感激し、夕食時の懇親会はカラオケに始まり、炭坑節では親の会の“和”を感じました。

2日目のバスの車窓からの駿河湾越しの富士山もさることながら、イチゴ狩りも最高でした。今から来年が楽しみです。

(吉野 明美)



## NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター主催 ～ コミュニティフレンドについて ～

2月22日(土)の13時から15時まで、地域福祉施設「ちどり」1階会議室で、「第3回 たかつコミュニティフレンド」を開きました。

今回は、書道の先生をお招きして、“書初め”をしました。先生の優しいご指導もあって、皆、最初こそ、緊張していましたが、2枚、3枚と書き進むうちに、会心のできに笑顔になりました。

「この場所で、障害のある人とない人が出会って、お友達に・・・」が、広がっていくよう、これからもゆっくりがんばって、この場の提供を続けていきたいです。(仁尾 智都子)



## つぶやき

**Aさん:** 親子で一緒に生活してきたけど、子も高齢になり、私自身も高齢で娘を介護するのも、きつくなってきました。医療も介護も必要な障害者は、家庭で介護することができません。地域で暮らせない障害者を受け入れてくれる入所施設は、必要だと思います。

**Bさん:** 母親が亡くなり、残された父親が子の世話をするようになりました。年を取り、持病を抱えながらも頑張って介護をしています。この先もし、父親が入院するようなことがあったらショートステイが必要になってきます。地域で安心して暮らせるよう、施設の充実を願っています。

**Cさん:** 今、我が子はグループホームに入って作業所に通っています。障害基礎年金と工賃だけで生活していくことが、困難になり年金生活の親がなんとか補てんしている状態です。地域で自立した生活をとりたい、グループホームで暮らしてはいるけど、この先、本人の希望に添った生活がしていけるのか？心配しています。

## 「海水浴の集い (海水訓練)」のお知らせ

実施日 平成26年7月23日(水)

場 所 勝浦 ホテル三日月 (千葉県勝浦市)

\*詳しくは、後日配布されますチラシをご覧ください。

皆様のご参加をお待ちしています。

## 川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《平成26年2月1日～平成26年4月20日まで》

### <各種会議、行事等>

|                |                             |                |
|----------------|-----------------------------|----------------|
| 2月 3日 (月)      | 高津支部新年懇談会                   | 福祉パルたかつ        |
| 4日 (火)         | 幸支部新年懇談会                    | さいわい健康福祉プラザ    |
| 5日 (水)         | 中原支部新年懇談会                   | 総合自治会館         |
| 6日 (木)         | 麻生支部新年懇談会                   | 新百合ヶ丘21ビル・夢庵   |
| 12日 (水)        | 川崎3支部新年懇談会                  | 川崎市南部身体障害者福祉会館 |
| 14日 (金)        | 多摩支部新年懇談会                   | 福祉パルたま         |
| 17日 (月)        | 第10回運営委員会                   | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 19日 (水)        | 宮前支部新年懇談会                   | 藍屋・宮前平         |
| 21日 (金)        | 第5回広報委員会                    | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 24日 (月)        | あんしんノート書き方講習会               | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 24日 (月)        | 予算要望回答説明                    | 川崎市役所第3庁舎      |
| 25日 (火)        | 第5回余暇活動委員会                  | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 3月 4日 (火)      | やまゆりとの共催研修会                 | てくのかわさき・ホール    |
| 7日 (金)         | 第5回権利擁護委員会                  | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 9日 (日)～10日 (月) | 春の宿泊レクリエーション                | 静岡県・西伊豆方面      |
| 11日 (火)        | 第13回三役会議                    | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 13日 (木)        | NPO法人「フ・デザイン」研究所代表理事須藤氏との懇談 | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 17日 (月)        | 第11回運営委員会                   | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 20日 (木)        | (社福)ともかわさき「むぎの穂」訪問          | むぎの穂           |
| 22日 (土)        | HP開設プロジェクト                  | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 24日 (月)        | (社福)ともかわさき評議員会              | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 26日 (水)        | (社福)ともかわさき「第1やまぶき」訪問        | 第1やまぶき         |
| 27日 (木)        | (社福)ともかわさき理事会               | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 27日 (木)        | (社福)ともかわさき「なしの実」訪問          | なしの実           |
| 28日 (金)        | (社福)ともかわさき「たちばな」訪問          | たちばな           |
| 4月 9日 (水)      | 第1回三役会議                     | 地域福祉施設「ちどり」    |
| 15日 (火)        | 第1回運営委員会・第1回広報委員会           | 地域福祉施設「ちどり」    |

### <対外行事>

|            |                           |             |
|------------|---------------------------|-------------|
| 2月 2日 (日)  | 関東ブロック第2回代表者会議            | 水戸市「三の丸ホテル」 |
| 5日 (水)     | 社協・第4回障害者団体部会             | 総合福祉センター研修室 |
| 6日 (木)     | 第28回川崎市福祉有償運送運営委員会        | 明治安田生命ビル会議室 |
| 17日 (月)    | 第1期第5回川崎市障害者施策審議会         | 川崎市役所第4庁舎   |
| 21日 (金)    | 三団体会長会議                   | 地域福祉施設「ちどり」 |
| 22日 (土)    | 平成25年度障害者福祉講演会            | 川崎市福祉センター   |
| 26日 (水)    | 県立麻生養護学校への説明              | 県立麻生養護学校    |
| 28日 (金)    | 第8回アゼリア展示即売会              | 川崎地下街「アゼリア」 |
| 3月 7日 (金)  | 全日本育成会の運営および組織体制に関する研修会   | 品川区立総合区民会館  |
| 8日 (土)     | 全日本育成会・第15回権利擁護セミナー       | 太田区民ホールアブリコ |
| 8日 (土)     | 将来の安心に備えて                 | 総合福祉センター    |
| 11日 (火)    | かわさきサイエンス&テクノロジーフォーラム2013 | 産業振興会館      |
| 19日 (水)    | 全日本育成会・行政説明会              | 東京          |
| 20日 (木)    | 全日本育成会評議員会                | 東京          |
| 25日 (火)    | 川崎市社会福祉事業団評議員会            | 事業団多目的室     |
| 28日 (金)    | 第2回川崎市ウェルフェアイノベーションフォーラム  | 産業振興会館      |
| 28日 (金)    | 第2回神奈川県障害児者団体連絡協議会運営委員会   | 神奈川県社会福祉会館  |
| 4月 18日 (金) | 第1回関東甲信越ブロック手をつなぐ育成会連絡会議  | 甲府富士屋ホテル    |

賛助会費・ご寄附ありがとうございました。 (順不同・敬称略)

|              |           |    |         |
|--------------|-----------|----|---------|
| 金野 好子 高津区蟹ヶ谷 | 5,000 円   | 匿名 | 3,720 円 |
| 川崎市弘済会       | 100,000 円 |    |         |

### 生活サポート総合補償制度のご案内

会費(年間) **17,000円**

知的障害児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度

普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、国外の賠償責任不担保特約、天災危険担保特約付帯) AX-107-2007

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p><b>病気やケガで入院したときの補償</b></p> <p style="font-size: x-small;">被保険者が病気またはケガにより、保険期間中に開始した入院が3日を超えた場合に、次の保険金が支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●付添介護保険金 1日 8,000 円</li> <li>●差額ベット費用 1日 3,000 円</li> <li>●入院諸費用 入院1日 1,000 円</li> <li>●入院一時金 1入院 5,000 円</li> </ul> | <p><b>ケガをしたときの補償</b></p> <p style="font-size: x-small;">被保険者が偶発の事故により保険期間中にケガを被った場合に、次の保険金が支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ケガによる死亡 10万円</li> <li>●ケガによる後遺障害 4千~10万円</li> <li>●ケガによる入院 1日 3,000 円</li> <li>●ケガによる通院 1日 2,000 円</li> <li>●ケガによる手術 3万・15,000円</li> </ul> | <p><b>他人に損害を与えたときの補償</b></p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">第三者賠償</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●他人への損害賠償 対人・対物</li> <li><b>1事故1億円</b> 限度(自己負担額なし)</li> </ul> <hr/> <p><b>病気で死亡したときの補償</b></p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">葬祭費用保険金</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">葬祭費 10万円まで</p> |
|---|---|---|

やまゆり知的障害児者生活サポート協会(旧やまゆり互助会) ☎ 045-314-7716

この制度の詳細は、当協会または代理店にご照会下さい。 担 当 代 理 店 株式会社JIC 〒163-0023 新宿区西新宿3-2-11新宿三井ビル2号館2F ☎03-5321-3373  
引受 保険 会 社 AIU損害保険株式会社 〒130-8560 東京都墨田区錦糸1-2-4 アルカウエスト ☎03-5611-5165

※平成25年度は7,500名余のご加入をいただきました。26年度もご加入よろしくお願いたします。

### 編集後記

今回、初めて編集を担当させていただきました。日頃の広報委員の皆さんのご苦勞が身にしみました。私はあまり得意ではないパソコンと格闘しつつ、記事をページに配置し、見た目はどうか？読みやすいか？と考えました。そのため、時間がどんどん過ぎていきました。お役に立てたのか疑問ですが、この機会を与えていただいたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。

広報委員 安達 ゆかり

### 【もくじ】

- P. 1 川崎市育成会手をむすぶ親の会会長 新年度に向けて
- P. 2 平成26年度予算要望回答について・全日本育成会研修について
- P. 3 平成26年度総会のご案内／福祉大会のご案内／川信ふれあい市場のお知らせ
- P. 4 各支部代表者の紹介／各委員会委員の紹介
- P. 5 川崎市関係主要職員の紹介／卒業生の進路
- P. 6 全日本育成会セミナーについて
- P. 7 研修会「桜の風」について／アゼリア展示即売会報告
- P. 8 「あんしんノート」書き方講習会報告とお知らせ／NPO 法人ピープルデザイン研究所 須藤氏との懇談
- P. 9 支部通信
- P. 10 春のレクリエーションの報告/自由投稿/つぶやき
- P. 11 活動報告
- P. 12 賛助会費/やまゆり広告/編集後記/もくじ